

産業 建設 厚生

常任委員会

介護保険料軽減第3段階まで拡充



委員長 奥本 哲也

委員会に付託された3議案は審査の結果、全て原案のとおり可決すべきものとなった。

●令和元年度 一般会計補正予算

■介護保険特別会計繰出金 1424万円

■国庫負担金の軽減として1363万円、事務システム改修費として60万円計上したものの。

■保健センター臨時職員賃金 216万円

職員が産休のため、臨時職員で対応。来年3月までの9カ月間雇用するもの。

■臨時職員雇用賃金 1508万円

今年度5月末までに、職員が2名退職しているなど、緊急的の人員を確保するためのもの。

■県工事排水流末処理工事 400万円

加持本村地区排水路設計委託料として計上したものの。

■子育て包括相談員賃金 121万円

当初、非常勤として雇用する予定だったが、雇用形態が変わり、臨時職員として雇用するもの。

●介護保険条例の一部改正

今まで第9段階の保険料の内、第1段階のみ保険料が軽減されていたが、今回の改正で第3段階まで保険料の軽減が広がったためのもの。

●令和元年度介護保険事業特別会計補正予算

歳出の121万円は、10月に消費税引き上げと介護職員の処遇改善のためのシステム改修として計上。

歳入は低所得者の保険料軽減化が図られ、市町村が低所得者の保険料を軽減した場合、減額した保険料の総額を一般会計から特別会計に繰り入れる仕組みが創設されたことによるもの。



交流人口増加

去る6月15日、入野海岸の「海のバザール」に、100台ほどのオートバイが集結した。暴走族ではない。世界中に100万人ともいわれるハーレーダビッドソンの、国内(約3万人)の会員がやって来た。早朝からの雨で、出足は決して良くはなかったが、昼頃には雨も上がり参加者は、雄大な太平洋を眺めたり、昼食をとったり楽しんでいった。

こうしたことの積み重ねが大切だと感じた。今後も、黒潮町ファンを増やし、交流人口の増加から町内人口の増加へとつなげたい。



雨の早朝



昼間、快晴の入野海岸